

2019年3月期 第2四半期決算補足資料

2018年10月30日
住友理工株式会社

1. 連結経営成績〔IFRS〕(2018年4月1日～2018年9月30日)

① 連結損益計算書

(単位: 億円)

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
売上高	2,220	2,314	+94	+4.2%
事業利益*	49	45	-4	-8.9%
その他損益	△1	△2	-1	-
営業利益	48	42	-5	-11.1%
金融収支	△5	△2	+3	-
税引前四半期利益	43	40	-2	-5.2%
法人所得税費用	△23	△20	+4	-
四半期利益	19	21	+1	+7.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	11	11	+0	+2.1%
非支配持分	9	10	+1	-

* 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

② 事業セグメント別業績

(単位: 億円)

		2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
売上高	自動車用品	1,881	1,959	+78	+4.1%
	一般産業用品	338	355	+16	+4.9%
	連結計	2,220	2,314	+94	+4.2%
事業利益	自動車用品	35	37	+2	+5.4%
	一般産業用品	14	7	-6	-46.4%
	連結計	49	45	-4	-8.9%

③ 所在地セグメント別業績

(単位: 億円)

		2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
売上高	日本	1,026	1,050	+24	+2.4%
	米州	500	520	+20	+4.1%
	アジア	667	722	+55	+8.3%
	欧州その他	289	296	+7	+2.3%
	消去又は全社	△261	△274	-12	-
	連結計	2,220	2,314	+94	+4.2%
事業利益	日本	△13	△12	+1	-
	米州	18	4	-15	-80.1%
	アジア	58	63	+6	+9.8%
	欧州その他	△11	△6	+6	-
	消去又は全社	△3	△5	-2	-
	連結計	49	45	-4	-8.9%

(注) 各セグメントには、セグメント間取引消去前の数値を表示しております。

④ 為替レート(期中平均)

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
円/米ドル	111.08	110.28	-0.80	-0.7%
円/ユーロ	126.30	129.85	+3.55	+2.8%
円/人民元	16.42	16.75	+0.32	+2.0%
円/タイバツ	3.28	3.40	+0.12	+3.6%

2. 業績の概要

(1) 売上高

2,314億円 (前年同期比4.2%増) ※ 第2四半期累計としては過去最高の売上高

<概況>

① 自動車用品 1,959億円 (前年同期比4.1%増)

- ・ 日本は、西日本豪雨の影響を一部で受けたものの、全体では増収
- ・ 中国、東南アジア、欧州などの各地域で、堅調な自動車生産を背景に増収
- ・ 米国は、新車販売減速やメキシコ洪水の影響を受けたが、新製品拡販等により増収
- ・ 南米は、自動車生産台数増加により現地通貨ベースで増収

② 一般産業用品 355億円 (前年同期比4.9%増)

- ・ インフラ分野では、中国におけるインフラ投資拡大により建設・土木機械の需要が増加したことから、高圧ホースが増収
- ・ エレクトロニクス分野のプリンター向け機能部品は、一部顧客の生産調整の影響で減収
- ・ 住環境分野の住宅用制震ダンパーは、西日本豪雨による工期遅れで販売伸び悩み

(2) 事業利益

45億円 (前年同期比8.9%減)

<概況>

① 自動車用品 37億円 (前年同期比5.4%増)

- ・ 日本、アジア、欧州では、販売数量増加やコスト低減により収益性が改善
- ・ 米国では、複数車種モデルチェンジへの同時対応により、新規品立ち上げコストが増加し収益性が悪化。受注増加に対応するため、雇用ひっ迫の環境下で増産要員を採用したものの、従業員の定着率が低く、生産性改善に遅れ。

② 一般産業用品 7億円 (前年同期比46.4%減)

- ・ 鉄道部品のグローバル展開や国内物流拠点整備のコストが増加

3. 連結業績予想

2019年3月期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,700	145	135	125	60	40	38.52
今回予想修正 (B)	4,750	135	125	115	60	40	38.52
増減額 (B-A)	+50	-10	-10	-10	-	-	-
前期実績 (2018年3月期) (C)	4,629	129	122	113	58	35	33.98
前期比増減額 (B-C)	+121	+6	+3	+2	+2	+5	-

- ・ 売上高は、日本やアジアでの販売が想定を上回っており、予想を増額
- ・ 事業利益は、米国拠点の生産性改善に時間を要すること、下期に想定される関税コスト増加、および西日本豪雨やメキシコ洪水による稼働低下の影響を考慮し、予想を減額

以 上